

## 1 学期始業式

皆さん、おはようございます。いよいよ平成最後となる31年度がスタートします。そして、5月からは令和の時代が始まります。新たな時代を迎えるに当たり、今日は「旬」という言葉についてお話しします。

「旬」と言っただけでは、皆さんそれぞれに様々な漢字が頭に浮かんでいると思いますが、これからお話しするのは、俳句の旬という字の口の部分を一日の日という字に変えた字です。よく食べ物の最もおいしい時期に、この旬という言葉が使われますが、今「旬」な食べ物というと皆さんは何が思い浮かびますが。旬という字に竹冠をつけた筍や、たらの芽などが美味しい季節ですね。

私は、食べ物だけでなく人間にも旬があると考えます。つまり、人間の成長にとってそれぞれに最適な時機があるということです。例えば、国語では小学1年生で習う漢字、6年生で習う漢字だと、当然6年生で習う漢字の方が難しいですよ。このように、学習内容は覚えるのが最適と考えられている時機に教科書に取り上げられています。

ある研究によると、人間の記憶力は18歳頃をピークとして衰退していくと言われています。これに対して、論理的な思考は、もう少し発達のピークが後ろにずれ、ちょうど高校生あたりからが最も充実する時機と考えられています。つまり、高校時代が一生のうちで、記憶力も論理的な思考も、最も充実している時機になるわけです。大学や短大は勿論のこと、専門学校でも就職先でも、様々なことに取り組んだり、物事の判断を求められたりする場面が必ずあり、論理的な思考が求められます。そのような時に適応する能力を身に付ける最も大切な時機が、まさに今です。是非、今週から始まる授業も全力で取り組み、人生の土台をしっかりと築いてください。

また、「旬」は勉強だけではありません。ある調査では企業が採用試験で重視することの第1位が「コミュニケーション能力」、第2位が「主体性」、第3位が「協調性」という結果が出ています。高校生活において、これらの能力は授業の中では勿論、社会の縮図

としてのホームルーム活動や部活動を中心とする集団における活動体験で養われていきます。皆さんは進級してクラス替えがあり、新たな友人との出会いがあります。「出会いの会いは愛である。」私の好きな言葉です。新たな友人との出会いを大切にし、人間関係を豊かにする資質を育てる上でも高校時代は「旬」の時機であると言えます。昨年も、いじめで高校生が自殺するという痛ましい事件がありましたが、他人が嫌がるようなことを言ったり、SNSに悪口を書き込んだりするようなことは、成人の一手手前にいる高校生としては、まだ成長できていない未熟な行為です。皆さんの中には、このような未熟な人はいないと信じていますが、さらに成長して良好な人間関係を築ける力を身に付けてください。人と人とのつながりの大切さを学び、自分の意見をしっかり持ち、主張できる訓練を積んでください。また、相手の意見も尊重し、お互いを認め合う中で高め合うような豊かな人間性を育ててください。

3年生はこの学問や人生を学ぶための「旬」な時機を逃さず、進路実現に向けて全力で取り組んでください。

2年生はよく中だるみ学年と言われますが、この「旬」な時機に頑張った人は必ず良い結果がついてきます。まずは今やるべきことに全力を注いでください。

1年後に、大きく成長した皆さんの姿を見ることを楽しみにして、新年度始業の挨拶とします。